

中高一貫女子は幸せか／マネー素人の運用と安全策

# AERA

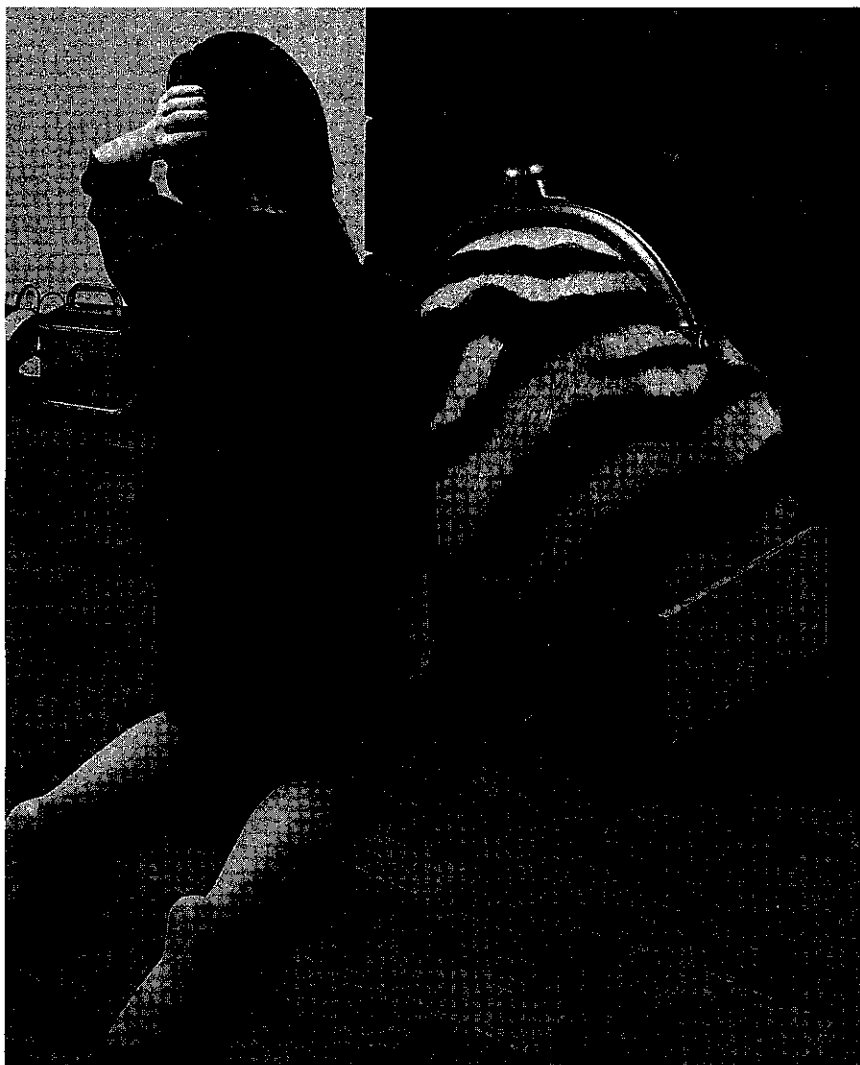
2005.3.21

6.15 定価360円

アエラ



マネー素人親善大使 フランテレーキム・ワック



空き巣だって怖いから、たんす預金というわけにも……

# マネー素人は カネをどどこへ

## セキュリティ対策と運用

億を動かすホリエモンなんて雲上人。うんと増やしたいわけじゃない。コツコツ貯めたコガネを守り、少し増やすにはどうすれば。

編集部 木村恵子

「暗証番号が生年月日じゃないからって安心できるわけではありません。暗証番号を使い回している人は特に要注意」

キャッシュカードが知らないうちに偽造され、手元にカードはあるのに預金が引き落とされてしまうスキミング被害から、なげなしの貯金を守る極意を聞きたくて、訪れた都内のNPO「日本情報安全管理協会」。佐藤健次事務局長の一言で、血の気が引いた。

私の暗証番号は、大学合格の際の受験番号をもじったもので、だれにも類推されない自信作。だが、銀行口座を持ち始めた10年以上前から一度も変更したことはないし、これまでに何枚か持ったキャッシュカードやクレジットカード、その他の暗証番号までだいたい同じ番号にしてきた。

### 磁気併用は限度額注意

さらに佐藤さんは続ける。「口座は分けるべきです。通常持ち歩くキャッシュカードの口座は、日々使う少額だけにします。使わないお金は別口座にしてカードは発行しない。カードを作れば作るほど、個人情報が増える危険も増えると考えた方がいい」

「ゴルフ場などで預けた荷物からカードを抜き取られて偽造されるだけだと思ったら甘い。小さな装置をカバンにかざすだけで磁気情報を盗むこともできる。スキミング技術はどんどん進んでいるから、カードは、電波を通さない特殊な

布や鉄のケースに入れるほどの注意が必要なんです」

そこまで……。いずれの対策も取っていない私は、取材中反省しきりだった。

これだけスキミング被害が広がっても、私も含め、周りの20代30代シングルは、自分だけは被害に遭わないという危機感不足からか、「財布」の管理に無頓着な人が多い。忙しさにかまけ、銀行の普通預金に給与を振り込まれるままに貯め続けた「コツコツ型」というより「ほったらかし型」は、一体どうしたらいいのか。

まずは、各銀行のスキミング対策をじっくり比べてみよう。メガバンクの取り組みだけでも、相当差があり(80ページの表、使うには「良質の選択眼」が必要だ)。

各行の対策の柱がICカード。情報がそのまま磁気ストライプに内蔵されていた従来のカードに比べ、情報を暗号化してあるので現状では偽造は難しいとされている。だが、ICカードと言っても、東京三菱以外の3行はすべて従来の磁気タイプと併用型。3行はいずれも理由をこう説明する。

「ICカードだけでは、対応可能なATMの台数が十分ではなく、他行やコンビニのATMとの互換性もない。利便性を考え、磁気タイプも併用しています」

つまり、磁気併用のICカードなら従来通り、どのATMでも使えるわけだ。その代わり磁気での利用限度額は、みずほが1日50万